

講話「レオロジー・クラシック」2018

主催：日本レオロジー学会

協賛：化学工学会、紙パルプ技術協会、高分子学会、色材協会、日本化学会、日本材料学会、
日本バイオレオロジー学会、日本油化学会、日本ゴム協会、プラスチック成形加工学会（依頼中）

日時：2018年6月15日（金）9:30～18:15

会場：京都リサーチパーク（西地区）4号館2階 ルーム2-B

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93

（最寄駅からのアクセス）<http://www.krp.co.jp/access/>

（KRP内マップ）<http://www.krp.co.jp/access/map.html>

趣旨：レオロジーは現在の工業技術において不可欠の概念であるが、一方で初心者には取っ付きにくいと言われている。しかし学び方によるとそうではない。この講話においては、レオロジーの研究・教育のベテラン（レオ老人と自称している）が面白くて役立つこの分野を易しく紹介する。

プログラム：

9:30～9:35

はじめに

京都大学名誉教授 尾崎 邦宏

9:35～11:05

第1話 レオロジーとは

京都大学大学院工学研究科 瀧川 敏算

「レオロジー早分かり」を聞いて「そうか」と思っていた。代表的なレオロジーの現象を紹介し、分野の広さとその重要性を認識してもらおう。レオロジーの勉強法を知っていただく。

11:05～11:20 休憩

11:20～12:20

第2話 レオロジー入門 Part I

京都工芸繊維大学名誉教授 高橋 雅興

「レオロジー」に入門する。ひずみ、応力、弾性率、粘度、粘弾性、緩和時間など基本的な用語を覚えていただく。この学問分野の「真髄」をやさしく説明することにより、自分なりの「レオロジー像」を獲得していただく。

12:20～13:45 昼休憩

13:45～14:45

第2話 レオロジー入門 Part II

京都工芸繊維大学名誉教授 高橋 雅興

高分子、食品、化粧品、塗料、スラリーの具体例について、測定データの見方・考え方をやさしく説明し、面白くて役立つレオロジーを味わっていただく。

14:45～15:00 休憩

15:00～16:30

第3話 高分子レオロジークラシック

東京大学名誉教授 土井 正男

ゴムやゲルなど、高分子を含む物質は、なぜ特異なレオロジー的な振る舞いを示すのか、それらが分子の構造とどのように関係しているのかについて高分子科学の立場から説明する。

16:45～18:15

第4話 余談（懇談・懇親会） レストラン PATIO 京都リサーチパーク（東地区）1号館1階

軽い食べ物と飲み物をとりながら講師（レオ老人）と懇談すると、さらに理解が進むかもしれない。

参加費（税込）：主催（協賛学協会会員含む）32,400円、一般 43,200円、学生 10,800円

*講話資料、懇親会、単行本「講座・レオロジー」（お土産）付き

申込締切：2018年6月6日（水）

定員：30名 *定員に達し次第締め切らせていただきます。

申込方法：学会HPの申込フォームからお申込み下さい。不可の場合は、申込書（HPからもダウンロード可）

にご記入の上メールでお申し込みください。

- ① 学協会会員である会社・事業所等よりお申し込みの場合は参加者が非会員であっても会員として取り扱います。
- ② 参加費は銀行振込または郵便振替で6/30（金）までにお振込みください。
銀行:三菱UFJ銀行 出町支店 普通 4192464
郵便:01040-6-17564
名義:「一般社団法人日本レオロジー学会」
(イッパンシヤダンハウジンニホンレオロジーガクカイ) 共通です。
- ③ 申込者には事前に、名札（参加証）を送付いたしますので当日ご持参頂き受付でご呈示ください。なお、会場への入場と受付は9時より開始致します。

申込先: 一般社団法人 日本レオロジー学会

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク 6号館 3F

TEL:075-315-8687 FAX:075-315-8688 E-mail: office@srj.or.jp

http://www.srj.or.jp/

アクセス:【JR】【近鉄】【地下鉄】京都駅より、JR嵯峨野線（山陰線）乗り換え丹波口駅下車、西へ徒歩10分
会場地図:



会場見取り図: 京都リサーチパーク 4号館 2階 ルーム2-B

